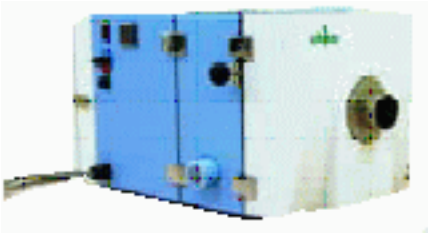
高性能小型消臭集塵機

SUNCBA-080HCDSA

取扱説明書



株式会社リンシュンドウ

ＲＳＤ CO.,LTD.

目次

1　製品使用上のご注意 3
1.1　全般 3
1.2　設置 3
1.3　接続 3
1.4　運転 3
1.5　修理・分解・改造 3
1.6　廃棄 3
2　製品到着時の確認 3
3　製品の名称と構造 4
3.1　本体名称 4
3.2　付属品（フィルター）の名称 4
3.3　構造 4
4　運転 5
4.1　電源について 5
4.2　運転前の確認 5
4.3　圧力計について 5
4.4　圧力計の設定（変更） 6
4.5　運転手順 6
5　保守・点検 6
5.1　保守・点検時の注意事項 6
5.2　フィルタ・活性炭の交換 7
5.3　１次フィルタ・ゼオライト（添加剤）の交換 7
5.4　２次フィルタの交換 8
5.5　１次フィルタのチリ落とし（シェーキング）作業 8
5.6　活性炭交換 8
5.7　排気フィルタ交換 9
5.8　日常点検 9
6　正常に動作しない場合の対策 10
7　本体仕様 10
8　消耗品リスト 11

Copyright R.S.D. Co., Ltd

1 製品使用上のご注意

1.1 全般

- 設置、接続、運転、操作、点検、故障診断の作業は、取扱説明書の内容に従い、適切に行って下さい。誤った作業を行うと、火災・感電・けがの原因になります。

1.2 設置

- 回転機器が内蔵されていますので、水平で振動の無い場所に設置して下さい。
- 爆発・引火性ガス・腐食の危険がある場所や、水のかかる場所、可燃物のそばでは使用しないで下さい。
- 本機は、屋内クリーンルーム内に設置することを前提とした構造となっていますので、屋外などには設置しないで下さい。
- 常温（周囲温度 20～30℃ / 湿度 80%以下）で、結露しない場所に設置して下さい。高温・結露は、電気部品の故障、感電の原因になります。
- 排気口は十分なスペース（排気口より 100 ㎜以上）を設けて下さい。排気口を塞ぐと正規の吸引力が発揮できません。また、ボックス内部で十分な冷却が行われないため、モーター焼けや電気部品の故障原因となります。
- フィルタの交換、メンテナンスのしやすい場所に設置して下さい。
  （フィルタ交換のためのスペースが必要です）

1.3 接続

- 接続は、確実におこなって下さい。ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。
  火災・感電の原因になります。
- 異なった電源で使用しないで下さい。

1.4 運転

- 運転中に移動させないで下さい。
- 停電した時には、電源を切って下さい。復旧時に、けが・装置破損の原因になります。

1.5 修理・分解・改造

- 本体を分解・改造しないで下さい。感電・けがの原因になります。内部の点検や修理はお買い上げになった販売店に連絡して下さい。

1.6 廃棄

- 産業廃棄物として適切に処分してください。

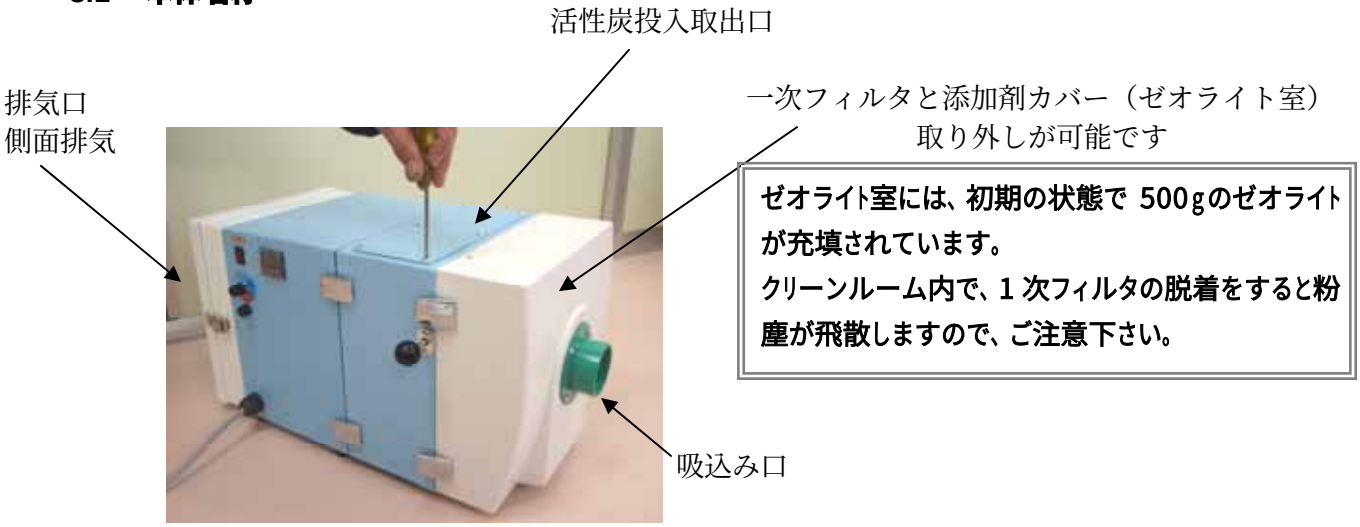
2 製品到着時の確認

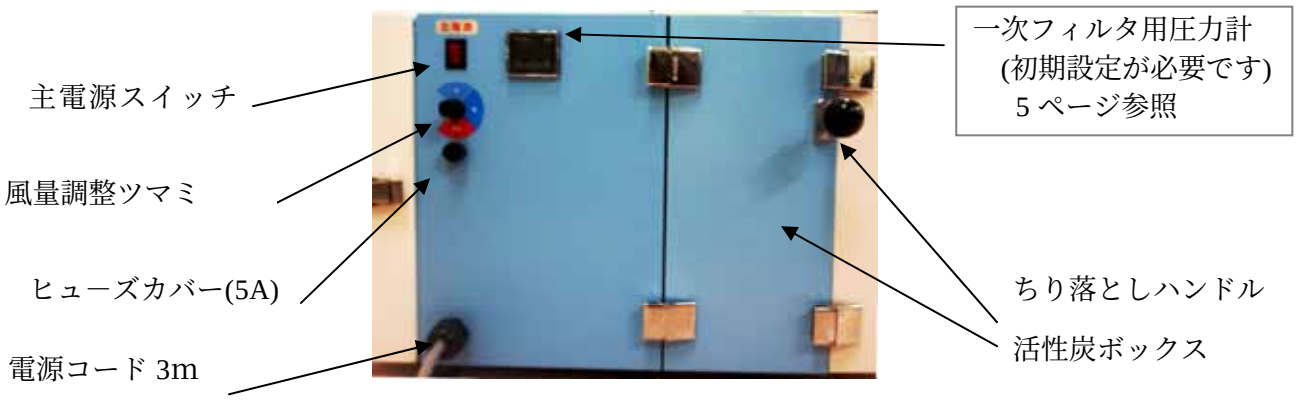
- 開梱されましたら、各部の不足部品がないかご確認下さい。
  万一、運送途中での破損・部品不足などがございましたら、すぐにご連絡下さい。
- 製品ネームプレートは、電源ケーブルの上方に貼っていますので、ご確認下さい。

Copyright R.S.D. Co., Ltd

3 製品の名称と構造

3.1 本体名称





3.2 付属品（フィルター）の名称

（標準属品）

1 次フィルタ

2 次フィルタ/排気フィルタ

3.3 構造

吸込み口より吸引された空気･微粉塵は、1 次フィルタの添加剤で捕集されます。
臭いの成分は、活性炭ボックスで吸着･消臭されます。
2 次フィルタは、活性炭の微粉塵を除去（捕集）します。排気クリーン仕様にはさらに細かい粉塵を除去（捕集）するための排気フィルタを装着しています。（詳細は、フィルタ交換の項目を参照ください）

Copyright R.S.D. Co., Ltd

4 運転

4.1 電源について

本機の電源は、AC100V 単相 50/60Hz です。
電源ｺｰﾄﾞは 100V 単相（ｱｰｽﾌﾟﾗｸﾞ付き）・ｺｰﾄﾞ長さ 3m

⚠	**異なった電源で運転されますと、故障の原因になります。**

4.2 運転前の確認

① 据え付け状態にがたつき等の異常がないか。
② 電源ｺｰﾄﾞ、アースの接続、絶縁、定格電圧になっているか。
①～②を確認し、用意できましたら、
③ 電源スイッチを入れて、ランプの点灯を確認してください。
④ 異常音が(金属音など)ないか確認してください。
⑤ 吸込みホースの接続がしっかりつながれているか確認してください。
⑥ 風量調整ツマミを右に回転させ（弱･中･強）任意の位置･適切な吸込み力にｾｯﾄしてください。　注）弱（低速）～強（高速）の設定は無段階調整となっております。

⚠	**工場出荷時には、風量調整ツマミ高速（強の最大）で 圧力計を設定していますので、任意の位置でご使用になる場合は 設定の変更が必要です。 4.4 圧力計の設定を参照し、必ず変更をして下さい。**

4.3 圧力計について

本機は、吸込み圧力(目詰まり状態)を圧力計(数値)で表示しています。

正常運転を 緑（液晶表示） / フィルタ目詰まりを 赤（液晶表示）としています。

工場出荷時の目詰まり設定は、7.0kpa。7.0kpa±10%で目詰まりの赤表示になります。
本機は吸込み側の圧力を感知しています。
1 次ﾌｨﾙﾀの目詰まりや添加剤の劣化･硬化、吸込みホースの長さ、ホース径などの原因により吸込み圧力が、弱くなります。(吸込み力低下)

キーエンス製
型式：ＡＰ-Ｃ30

◆ **圧力表示数値の 0 点調整について**

風量調整ツマミを停止位置にし、マニュアル調整ボタン△▽を同時に 3 秒押す。
数値が0にﾘｾｯﾄされます。
（停止状態で数値が0になっていない場合、0 点調整が必要です）

Copyright R.S.D. Co., Ltd

4.4 圧力計の設定（変更）

⚠	**設定の変更は、必ず、1 次フィルタ・添加剤（ゼオライト）が 初期（新品）状態で行ってください。**

① ＜主電源 ON＞吸込みダクトホースを接続して吸引状態にする。
② ＜風量調整ツマミ＞任意の位置（適切な吸込み力）に合わす。
③ ＜圧力計/マニュアル調整ボタン＞圧力計に数値が表示されたら、マニュアル調整ボタン△▽を押し、1.5kpa プラスした数値に変更します。
（例：表示値が 3.0kpa の場合、4.5kpa になるまで、マニュアル調整ボタンを押します。）
※注) 実際には、数値の前に－があり、マイナスの値となっていますので、
値としては、1.5kpa 小さくすることになります。（例の場合は -3.0kpa を -4.5kpa にする）

④ ＜圧力計/SET ボタン＞を押します。

⚠	**工場出荷時の目詰まり設定（7.0kpa）は、風量調整ツマミが最大（強の最大）値での設定です。 それ以外でご使用の場合は 1.5kpa をプラスした値に変更してください。 変更しないで使用すると、適切な目詰まり表示ができず、故障の原因となります。**

4.5 運転手順

1. 吸込みホースの接続がしっかりつながれているか確認してください。
2. 主電源スイッチを入れてください。
3. 風量調整つまみを廻し吸込み力を適切な吸込み力に調整してください。(強・中弱)
4. 1 次フィルタ圧力計の表示数値の確認
(初期吸込み状態数値が目詰まりサインの赤文字表示になっていないかの確認)

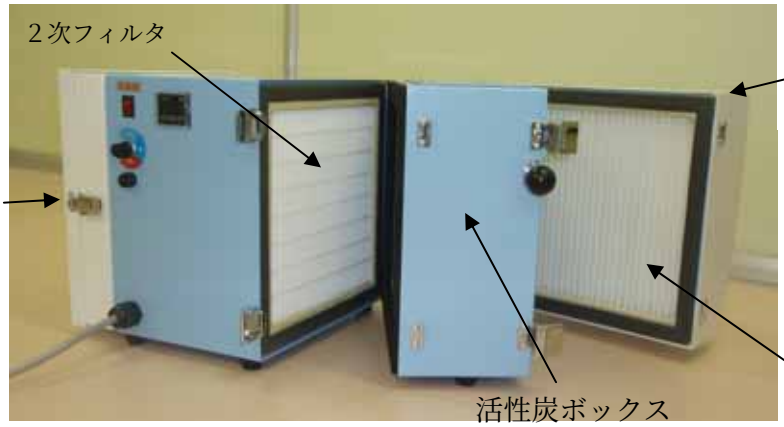
5 保守・点検

5.1 保守・点検時の注意事項

⊘	**点検時は必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いて行ってください。**
⚠	**摩耗や破損したフィルタをそのまま使用すると、吸込んだ粉塵を大気に再飛散させ、電気部品の損傷となります。 クリーンボックスの故障、事故を未然に防ぎ、 末永くご使用頂けますよう、点検、手入れは必ず行ってください。**

Copyright R.S.D. Co., Ltd

5.2　フィルタ・活性炭の交



5.3　１次フィルタ・ゼオライト（添加剤）の交換

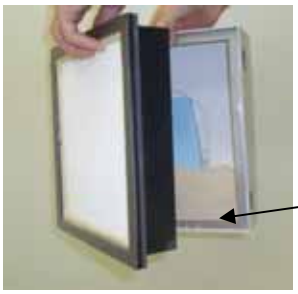
ゼオライト(添加剤)は、加工粉塵と混ざり合いますので、

性能低下し、1次ﾌｨﾙﾀの寿命が短くなります。

定期的(1.5ヶ月～3ヶ月) に交換して下さい。

① 1次ﾌｨﾙﾀのﾁﾘ落としを行って下さい。
② ﾌｨﾙﾀケースのパッチン錠をはずし、1次ﾌｨﾙﾀを取り外して、ゼオライトを交換下さい。
※　ケース内ゼオライト室にはゼオライトが充填されていますので、
ﾌｨﾙﾀケースを上部に引き上げて、抜き差し蝶番から取り外します。
※　1次ﾌｨﾙﾀを装着したままで、粉塵がこぼれても可能な場所に移動させた後、
(ケースごと袋に入れるなど)1次ﾌｨﾙﾀを取り外します。
※　カバーから、ゼオライトを取出し、新しいゼオライトを投入して下さい

⚠	**※カバー移動の際は、吸込み口を　下向きにしないで下さい！** **（ゼオライトがこぼれ出る可能性があります。）**



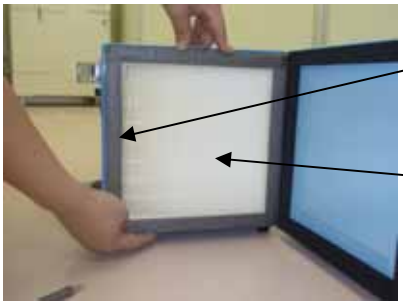
フィルタケースとフィルタの隙間(㊧㊨)にマイナスドライバーを差し込むと容易にフィルタが取り外し出来ます

Copyright R.S.D. Co., Ltd

5.4　2 次フィルタの交換

1次フィルタ＆添加剤を交換しても、圧力計が赤の点灯になったまま緑に変わらなくなったとき、交換してください。

①　フィルタケースを開け、2次フィルタを取り外す



フィルタケースとフィルタの隙間(㊧㊨)にマイナスドライバーを差し込むと容易にフィルタが取り外し出来ます

２次フィルタ

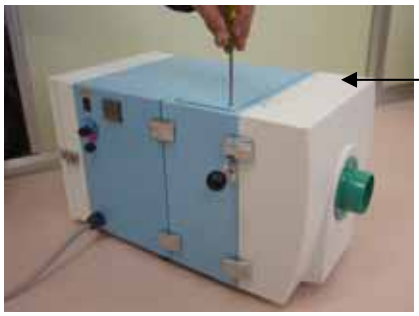
5.5　１次フィルタのチリ落とし（シェーキング）作業

運転停止後、チリ落としハンドルを前後に 4～5 回　動かしてください。

- ✧ **レーザー彫刻機の場合は粉塵量が多くなりますので、都度ちり落とし作業を行って下さい。（レーザーマーキングで連続運転作業の場合は、3～5 時間毎又はフイルタ圧力計の液晶数値表示が赤色になったとき）**
- ✧ **1 次フィルタのちり落とし作業を行っても、一次フィルタ用圧力計の数値が下がらない場合は、1 次フィルタが目詰まりしていますので、新品に交換下さい。**

5.6　活性炭交換

(排気口から臭いが出るようになったら交換して下さい)



活性炭投入取出口
《プラスドライバー使用》

活性炭投入取出口板を外して、活性炭を投入 (取り出し) してください。
活性炭量は 3.5ｋｇです。

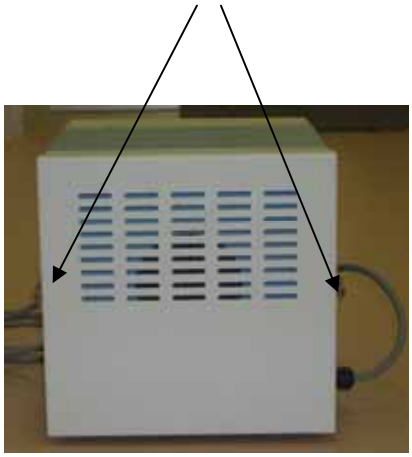
Copyright R.S.D. Co., Ltd

5.7　排気フィルタ交換

***フィルタは、裏・表を間違えないで取り付けて下さい。**

(格子の枠が排気側面側)

パッチン錠（２ヶ所）を
外してください



排気口扉を外し、
排気フィルタをとりだします

5.8　日常点検

点検項目	頻度	点検内容
1次･2次フィルタカバー	運転前	完全に閉じているか
排気の状態	1回／日	排気口が閉ざされていないか
本体の振動	1回／日	異常振動、異常音がないか 設置レベルは出ているか
フィルタの取り付け状態	1回／月	フィルタ取り付けが緩んでいないか

Copyright R.S.D. Co., Ltd

6 正常に動作しない場合の対策

故障現象	原因	対策･方法
モータが 起動しない	電源が入っていない モータ過熱	電源を入れる。 定格電圧の確認。(１００Ｖ　単相) 配線の短絡がないか確認する。 排気口、吸い込み口がふさがれていないか。 ＊フィルタの目詰まりの場合、新品交換
ブロア異常音、 異常振動	異物混入	異物の除去 フィルタの点検 (破損の場合は交換)
	電動機軸受けの破損	電動機交換 (修理依頼願います)
粒子吹きもれ (フィルタの目づまり)	フィルタ取り付け不良	フィルタの取付けがしっかり取り付けられているか再取り付け 又はフィルタの交換
	フィルタの破損、寿命	フィルタ交換

7 本体仕様

形式	CBA-080-HC-DSA(-01)　*-01 型式は排気ＨＥＰＡ付き
電圧･相･周波数	100V 単相　50/60HZ
消費電力(W)	310/320
出力	250W
風量m^3／min	1.5m3
静圧 Kpa 騒音　db(A)	7.0ｋｐａ ５４(低速)～６４(高速)
1次フィルタ 2次フィルタ 排気フィルタ	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ成型フィルタ 高性能テフロンコーティングフィルタ 高性能テフロンコーティングフィルタ(排気ｸﾘｰﾝｸﾗｽ 10.000 以上)
製品質量	22Ｋｇ
ｺｰﾄﾞ長さ	3m

Copyright R.S.D. Co., Ltd

8 消耗品リスト

① 1次フィルタ：ポリエステル成型フィルタ　　1枚/1台
② 2次フィルタ：高性能テフロンコーティングフィルタ　　1枚/1台
③ 排気フィルタ：高性能テフロンコーティングフィルタ　　1枚/1台
④ 活性炭（粒状）　　3.5ｋｇ／1台
⑤ ゼオライト　　400ｇ／1台

＊ 排気クリーンクラス1.000以下の場合、別途販売の排気ＨＥＰＡフィルタの装着が必要です。型式の末尾が－01となります

ご注意

本書の内容は、予告無しに変更することがあります。

お買い上げメモ

形　式		製造番号	
購入年月日		運転開始日	年　　月
お客様お名前			
ご住所	〒		
TEL	（　　）		
ご担当者			

Copyright R.S.D. Co., Ltd